

平成 31 年 2 月 22 日
福井県知事 西川 一誠

原子力の自主的安全性向上について

- ・資料 6 では、原子力エネルギー協議会（A T E N A）について紹介されているが、産業界に同じような組織がある中で、原子力発電所の技術課題を解決するために A T E N A が果たす役割について、広く国民も理解できるよう、さらに明確にすべきである。
- ・また、A T E N A の取組事例としてサイバーセキュリティ対策等が示されているが、この他にも、今後、全国の立地地域は 4 0 年超運転という課題に対応していく必要がある。福井県では、高浜 1、2 号機、美浜 3 号機について、全国初となる運転期間延長の認可がなされ、事業者自らの責任と判断により安全対策工事が行われているところだが、国民・県民には 4 0 年を超えて長期間運転することに対する不安の声がある。
- ・国が、4 0 年超運転の必要性や安全性を国民に説明することは当然であるが、A T E N A としても、4 0 年超運転で先行する海外の知見を収集し、技術的な観点から安全性を検証して、自主的な安全性向上対策をさらに進めていくことが、4 0 年超運転に対する国民理解を深めるものと考ええる。

公務のため会議に出席できないので、上記のとおり意見を提出します。